

質問書に対する回答

(件名) 長野自動車道 一本松トンネル補強工事

No.	質問事項	回答
1	技術提案で求められている「インバート施工に伴う車線規制の期間短縮に関する技術提案」に係る費用は、入札前価格交渉の見積書に計上して宜しいでしょうか。 その場合、契約制限価格の設定には工期短縮に係る追加費用も考慮されると考えて宜しいですか。	工期短縮費用など「インバート施工に伴う車線規制の短縮に関する技術提案」に係る費用は、入札前価格交渉の見積書に計上してください。
2	インバート補強工の標準工程では、インバートコンクリートの打設を日曜日もしくは夜間での施工も考えられていますが、発注者はコンクリートブランクとの事前協議済みであり、コンクリートの供給が可能と考えて宜しいでしょうか。	標準工程に示すとおり、夜間及び日曜日のコンクリートの供給が可能です。御社の施工計画に基づき、計上してください。
3	また、その時の休日及び夜間のコンクリートの単価をご教示下さい。	単価についてはお答えできません。
4	土留め杭の打設が片側車線規制で考えられていますが、一般交通との近接施工で危険な作業となりますますが安全対策はどのように考えられていますか。	御社の施工計画に基づき安全対策を計画してください。
5	インバートを技術提案に係る代替え案に変更した場合、非常駐車帯等に設置計画の鋼製支保工は必ずしも設置しなくても宜しいですか。	鋼製支保工については、設計図書のとおり設置してください。
6	標準工程では2021年度から2023年度にかけてインバート補強工が計画されているが、2021年度と2022年度での2年度内施工を提案した場合、272日より交通規制日数が多くなっても評価されますか。	「入札公告（説明書） 4-6. 技術提案書の採否の確認等」に記載のとおりです。
7	オリンピック・パラリンピックが2021年に延期になったことで、2021年7月の作業休止期間は変更されないのでですか。	現時点では、作業休止期間の変更は予定しておりません。
8	入札前価格交渉の見積書はエクセルで作成してよろしいでしょうか。	「入札公告（説明書） 5-2. 当初見積書の提出」に示すとおり、Microsoft Wordにて、提出してください。
9	標準案で設定されている工区（A1工区等）の延長を変更した場合、金抜き設計書の項目との整合性はどのように考えればいいのですか。	技術提案により工区を変更した場合は、金抜き設計書の項目の数量で整合がとれるよう見積を設定してください。（例：提案延長で費用を算出し、金抜き設計書の数量を割り返して見積単価を設定してください。）
10	4月7日の緊急事態宣言の発令で今後協力業者等との打合せで制約がある可能性があります。技術提案書及び当初見積書の提出日（5月27日）の延期は可能でしょうか。	入札等手続の保留についてホームページに掲載しておりますのでご確認ください。
11	中央排水の迂回路を仮設で設置することの提案は可能ですか。	別添1「技術提案に関する施工条件書（5/7） 路盤排水工」に示すとおりです。
12	A4工区及びB4工区では先行して覆工受台間の覆工切欠きを行う計画ですが、その必要性が不明です。工程検討の上での留意点となると思われますので、その理由をご教示ください。	別添1「技術提案における施工条件書（3/7） 作業日及び交通規制抑制期間」に示すとおり、10月は土日に車線規制を行えないため、標準案では先行して覆工切欠きを実施する工程を想定しています。